



# 偉人 坪内逍遙

## 坪内逍遙博士の略歴

坪内逍遙は、安政6年(1859)5月22日、当時の太田代官所の役人であった父・平之進の子として生まれました。

名古屋へ移住後、明治9年に上京、明治16年に東京大学を卒業するや『とうせしよせい当世書生気質』、『しょうせつしんずい小説神髓』など次々と発表し、明治新文壇の先駆者となりました。

演劇活動では文芸協会を創設し、最初の公演で『きりひとは桐一葉』、『ペニスの商人』などを上演し大成功を収めました。

また晩年には『シェークスピア全集』の刊行に専心しました。



早稲田大学  
にて撮影 ▶